

パパ・ママ子育て知恵袋

第18回は「思い通りにならない」

子どもに完璧を求めない。
みんなと同じでなくてよい。
親の思い通りになる子なんかいない。

子育てをしてきて、そんな境地に達するまで20年以上かかりました。
20年以上前の「新米パパ」であった私は、理想の子供像があって、それを押し付けることが教育だと、子育てだと思っていました。
結論。「ぜえ~~~~ん、ぜん、うまくいかない。
思い通りになんか、ぜえ~~~~ったい、いかない」。

校長は、年度末に自分の部下である職員一人一人の評価をします。
ABCの評価もするし、その評価の根拠を文章にして書くこともします。
いわゆる人事評価というものです。

ここからは、別の学校の校長の話です。
10年ほど前に聞いた話です。

「人事評価の筆が進まない部下がいる。ほめ言葉も思い浮かばないし、やる気を引き出すような励ましの言葉も出ない。特に僕に異を唱えてくる部下は嫌いだ。イエスマンの部下はかわいい。僕の思い通りにならない部下の評価は筆が止まる。

でね、熊谷さん、僕は気づいたわけだ。
僕の学校経営がどうもうまくいかない理由が、ここにあるんだってことに気づいたわけだ。部下が僕についてこないわけがわかったよ」。

この校長は今、児童数がとても多い大規模校の校長として、部下たちから絶大な信頼を得ています。

あと2年ほどで私の子育ては終わる予定です。
3人の子供たちは、どの子も私の思い通りには育ちませんでした。
でも、子どもに教えてもらったことがあります。

親としての自分に完璧を求めない。
よその親、世間の親と同じでなくてよい。

もっと早く気づいたら、気持ちにゆとりをもって親業ができたのになあ、と思います。